

令和2年度は子どもの  
「これ、やりたい」を引き出す環境作りを  
目指しています

身近な自然現象など、子ども達が「これなんだろう」と興味を持って見て触れる姿に保育者も一緒に見て触れて子どもの思いを受け止めています。  
また、日本には正月を始め、豆まき、桃の節句と季節とともに巡ってくるいくつかの行事があります。保育者は遊びの中で子ども達に由来を伝え、行事に必要な材料を一緒に集めたり、作ったりしています。

こんなに白い氷が  
集まったよ



寒波の日の朝  
～自然現象を身近に感じる～



そーっと触って見たら  
「つめたーい！」

もうすぐ節分  
～鬼対策をしよう～

手作りひいらぎを  
作り、各クラスに配  
る年長児



給食室にも忘  
れずに、ひいら  
ぎつけよう



園外へひい  
らぎ探し！  
「ひいらぎ  
みいーつけ

一緒に遊ぼう  
～乳児組親子であそぼう会～

今年度はコロナ禍のため、様々な行事の見直しがありました。しかし、子ども達の日頃の様子を保護者の方に伝えるために、各クラス入れ替え制（入れ替えごとに消毒・換気）で行うなど工夫して開催をしました。

